

眞面目にモノを伝える文書に、不要なイラストを入れないで！（たとえば、この文書ならイヌやネコの絵）読み手の気がそれてしまふだけでなく、「ふざけている？」という印象を与えかねません。読み手はおとな。イラストや写真は説明に必要なものだけ。

重要なことだから、園長名で

●年●月●日

■■保育園

園長 ▲▲▲▲

## 飼育動物(ペット)に対するアレルギーについてお願ひ

当園の園児、職員の中には食物アレルギーや花粉症だけでなく、ペット（イヌ、ネコ等）のアレルギーを持つ人もいます。アレルギーは、原因となるタンパク質（アレルゲン）にさらされると（接触、摂食、吸入）で起こりますが、症状が目に見えて出るまでにどれくらいかかるか、症状が即時に出るのか時間が経って出るのか、症状が強く出るかどうかは個人によって異なります。今は軽い症状でも、突然、アナフィラキシー・ショックを起こす場合もあります。ペットを飼っているご家庭で今後、アレルギーを発症する方がいるかもしれません。また、喘息の既往がある園児、職員は、ペットの毛によって発作のリスクが上がります。

アレルギーはみんなの問題」という意味で、こう書きました。

食物アレルギーはご家庭と園の協力によって発症をかなり予防できますし、そのように取り組んでいます。一方、ペット由来のアレルギーは、園でできる対応が限られています。とはいえ、イヌやネコの毛などをお子さんの服から完全に取ることは無理でしょうし、目に見える毛だけがアレルゲンではないのでやっかいです。

ペット由来のアレルギーについては  
ネットでいろいろお読みください。

ペットの毛を取る器具等でお子さんの服から毛をできる限り取っていただく、バッグは水拭きできる素材にしていただく等、ペットがご自宅にいるご家庭でお取り組みいただけすると幸いです。また、同じクラスの中でペット由来のアレルギーと診断された子どもや職員（＝自宅では飼育していない）がいた場合、その旨をクラスの保護者の皆さんにお伝えしたうえで、登園の時点で洗濯した服に着替えていただく等の対応をお願いする場合もあります。

この対策をした後も症状がひどい園児、職員がいる場合、ペットを飼っている家庭の子どもには園用の服を置いてもらい、最悪、それを園で洗濯するしかないかもしれません。

「原因はある程度、わかりますからね」という意味。

このようなお声がけは私どもとしてもなかなか心苦しいのですが、子どもたちも職員も快適に過ごすことができるよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

園でできることは限られており、飼育している家庭が努力すべきことだから、「ご理解ご協力」と書きました。